



社協だより

1

月号



謹賀新年2022

今年もコロナに負けず チャレンジと飛躍の年に

昨年はコロナ禍の中において福祉活動にご理解ご協力を賜りありがとうございました。

皆様の心意気を出れる限りサポートします。本年もよろしくお願いいたします。

新たな
取り組みの
推進



沖銀スマート募金



ふくし川柳



休校中の弁当無償配布



クリスマスケーキ寄贈



自宅療養者の
食料支援



買い物送迎支援



買い物配達支援活動



FM 放送



児童館季節行事



見守り隊結成・訪問活動



世代間交流



街頭募金



ふれあいいききサロン



ボランティアボックス



災害時要支援者避難支援計画作成



食料寄付活動の支援

地域活動の
推進

もくじ

2022 謹賀新年.....	1
会長挨拶.....	2
理事評議員名簿	
地域ふれあいデイサービス	

赤い羽根募金を活用した事業紹介...	3
在宅福祉活動・わかば通信	
比嘉信子氏出版記念.....	4
子どもと地域をつなぐサポートセンター系	

ボランティアセンター事業.....	5
活動アラカルト.....	6
特例貸付期間延長・相談窓口.....	7
保育サービス講習会受講者募集...	8

Facebook・Twitter
やっています！
チェックしてみてくださいね！





あけましておめでとうございます

那覇市社会福祉協議会
会長 新本博司

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方には幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は本会の事業推進に格別なご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年は、with コロナの一年世界中が新型コロナウイルス感染対策に奮闘した一年でありました。これまで以上に“人と人の絆”“繋がる事”の重要性を実感した

年でもありました。地域では知恵と工夫を凝らした「新しい地域の見守り活動」が実施されております。

コロナ禍によって、これまで以上に厳しさを増している地域生活課題解決に向けて、「ともに生きる豊かな地域社会」づくりを使命とし、地域住民、民生委員、自治会、行政、企業、関係機関と連携しながら、「あらゆる地域生活課題への対応と地域のつながりの再構築」を目指して参ります。

結びに、皆様方の限りないご活躍とご繁栄をお祈りし、本年も良い年でありますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和4年1月1日

社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会 第32期 理事・評議員名簿

理 事

1. 那覇市民生委員児童委員連合会	会長	眞榮城 嘉 政
2. 那覇市福祉部	部長	宮 城 寿満子
3. 那覇地区老人クラブ連合会	会長	上 原 清
4. 那覇市自治会長会連合会	会長	上 原 幸 吉
5. 那覇市本庁管内自治会長会	会長	前 原 信 達
6. 一般社団法人那覇市医師会	事務局長	上 原 善 政
7. 那覇商工会議所女性会	顧問	山 内 光 子
8. 沖縄県中小企業団体中央会	会長	島 袋 武
9. 株ドリームサポート沖縄	代表	新 本 博 司
10. 学識経験者（元小学校長）		長 嶺 美佐子
11. 学識経験者（元市役所OB）		宮 城 哲 哉

監 事

1. TKC有銘FP会計事務所	公認会計士/税理士	有 銘 寛 之
2. 沖縄県社会福祉事業団	理事長	金 城 敏 彦
3. 学識経験者	元市役所職員	諸見里 安 秀

顧 問

1. 那覇市	市長	城 間 幹 子
2. 社会福祉法人那覇市社会福祉協議会	前会長	仲 里 政 幸

評 議 員

1. 公益社団法人那覇市母子寡婦福祉会	会長	仲 盛 光 子
2. 那覇市手をつなぐ育成会	会長	知 念 道 之
3. 一般社団法人那覇市身体障害者福祉協会	常務理事	宮 城 愛 子
4. 那覇保護区保護司会	会長	兼 次 政 福
5. 那覇市福祉部福祉政策課	副部長兼課長	當 山 忠 彦
6. 那覇市民生委員児童委員連合会	副会長	伊 川 智 子
7. 那覇市民生委員児童委員連合会	副会長	仲村渠 忠 一
8. 那覇市民生委員児童委員連合会	理事	小笠原文 子
9. 那覇市民生委員児童委員連合会	副会長	上 原 勉
10. 社会福祉法人立保育園那覇市園長会	会長	金 城 佑 佐
11. 一般社団法人沖縄県社会福祉士会 権利擁護センターぱあとあお沖縄	運営委員長	石 川 和 徳
12. 社会福祉法人そてつの会	理事	仲 眞 良 勝
13. 那覇社協ボランティア市民活動センター	委員長	島 村 聡
14. 国際ソロプチミスト沖縄	理事	新 城 伸 子
15. 特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく	事務局長	宮 道 喜 一
16. 子どもの居場所 ほのぼのカフェ	代表	玉 寄 文 代
17. 真和志自治会長連絡協議会	会長	田 島 繁
18. 首里自治会長連絡協議会	会長	宮 良 吉 雄
19. 小禄地区自治会長連合会	会長	上 原 博
20. 那覇市教育委員会	副部長	根 間 秀 夫
21. 那覇市市民文化部まちづくり協働推進課	課長	宮 里 仁
22. 那覇市 PTA 連合会	会長	安 里 幸 治
23. 沖縄大学	名誉教授	上 地 武 昭

第9回 敬老の祝い

那覇市地域ふれあいデイサービス「第9回 敬老の祝い」は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言で、パレット市民劇場での開催が叶わず、今年度も各ふれあいデイサービス活動の場での表彰状授与となりました。本年度は「チャーガンじゅう表彰(卒寿90歳)」71人、「10年ボランティア表彰(10年間会の運営を支えていただいたボランティアさん)」39人、「開所20周年表彰」6か所が表彰されます。

11月下旬より役員が表彰状授与のため訪問しています。表彰されました皆さん、おめでとうございます。これからも、地域の皆さんの健康づくり・生きがいづくりのため職員・スタッフ一同頑張っていきますので、ご協力よろしくお願いします。(担当：慶田盛)



赤い羽根共同募金を活用した事業紹介

グラウンドゴルフでつながる見守りの輪

県営天久高層住宅自治会では、サークルの「グラウンドゴルフ」活動が盛んに行われています。毎週日曜日に集まりグラウンドゴルフを楽しむことで、住民同士の交流が深まり、お互いに元気な様子を確認することで地域の見守りの輪が広がっています。

自治会ではスティックとボールの購入のために赤い羽根共同募金の助成金が使われました。「これからもメンバーを増やそう、続けよう」を合言葉に元気な助け合いの心を広げながらサークル活動を続けていきたいとのことです。(担当：高澤)



ふくし川柳たくさんの応募ありがとうございます!!



那覇市共同募金委員会では、赤い羽根共同募金に少しでも興味を持ってもらうために、社協だより10月号にて、気軽にできる募金袋と一緒に「ふくし川柳」を募集いたしました。募集開始してから市内小中学校や地域の皆様からたくさんの川柳をいただいております!日々のちょっとした「ありがとう」の気持ちを伝える作品や、「たすけあい」の大切さを感じさせる作品など、個性的で心温まる作品が寄せられています!

募集は共同募金運動期間の3月末まで行っております。どしどし応募ください! (担当：高澤)

募集期間 2022年3月末まで

受付場所 ○那覇市社会福祉協議会 ○ 識名老人福祉センター・児童館 ○小禄老人福祉センター・児童館



わかば通信



昨年、ホームヘルプステーションわかばでは、講話への参加を通じて次世代の介護職人材育成に取り組みました。

10月22日(金)と11月17日(水)、金城中学校とさつき小学校において、ホームヘルプステーションわかばサービス提供責任者の江洲が社協のお仕事、福祉・介護の仕事説明会に伺い、介護職の魅力を伝えて参りました。

講話の中では、利用者、喜納盛安様のライフスタイルやその生活を支えているヘルパーとの関係性、江洲の経験から考えるヘルパーという仕事の魅力を伝えました。「喜納様とは時々ケンカもするけど、『ありがとう』と言ってもらえる事にやりが

いを感じている」という言葉に、子ども達も真剣に耳を傾けてくれていました。

そして、11月29日(月)には泊小学校4年生を対象に、福祉体験を実施。同じくサービス提供責任者の親泊がサポートさせて頂きました。

福祉体験では小学生のパワーに圧倒されながらも、アイマスクを装着しての視覚障がい者のガイドヘルプの方法、車いすの操作方法や注意点、段差での昇降介助方法などを教える事ができました。

今後も次の世代を担う子ども達に介護職の魅力を伝え、人材育成に力を入れていきたいと思います! (担当：わかば 金城優子)



利用者の喜納さん



車いすの介助体験



「ヒラマンギ家族」出版に寄せて

今から8年前、母、新城節は、自らの意見で老人ホームへの入居を決め、実行しました。その際、両親への感謝と同時に実子でない子供を6人も育てた人達がいることを多くの方々に知って頂きたいと思い点筆を取ったが、いざ書き出してみると色々なことが思い出されて、原稿を引き出しの奥に閉まってしまった。しかし、昨年2020年7月19日の朝、母が亡くなり、通夜の席で甥たちに、「じいじとばあちゃん、どこで知り合ったの?」と聞かれたのをきっかけに、再度点筆を取ることにした。

全盲の私が活字の本を出版するにあたっては、多くの人に助けていただいた。両親への感謝を込めて書いたものですので、私の思いをお汲み取りいただければ幸いです。(比嘉信子)



ヒガ ノブコ
比嘉信子さん



松川・繁多川子どもの居場所応援フェスタ開催のご報告!!



「例年どおりの地域連携会議の趣向を変えて、地域で楽しめるフェスタ等を検討してはどうか」との提案が、今年初めの松川繁多川エリアにある5カ所の居場所代表者の会議でありました。その後の会議でコロナ禍でも可能な取り組みについて、検討協議を重ね、11月14日『松川・繁多川子どもの居場所応援フェスタ』を首里城下町クリニック第二駐車場で開催しました。「地域で子ども達が安心して過ごし学べる場所のPRとそれを応援する企業・個人に周知し増やしていきたい」との目的を掲げ、各居場所がブースを出展し、ミニコンサート、バルーンアート、バザー、ゲーム、クイズ、パネル展示、フードドライブ、スタンプリリー等で工夫を凝らしました。当日は、200名以上の来場者で賑わい、「楽しかったので、また開催してほしい」との感想が寄せられました。地域の皆様には多大なご協力とご支援を頂きましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。(子どもと地域をつなぐサポートセンター糸・城間)



中間支援団体が意見交換 子どもの居場所支援



子どもの居場所支援に取り組んでいる中間支援団体や行政関係者ら7団体による意見交換会を11月12日に開き、各団体の現状や課題を共有しました。

先行事例の勉強会では、連携している中間支援団体「こどもの居場所サポートおおさか」の横田さんが取り組みを発表。企業との物資提供や保管配送の連携や、母子生活支援施設との連携などについて報告しました。

意見交換では、福祉関係機関の役割を学べる居場所向け勉強会の開催や、フードロス対策の取り組みとの連携ができないかなどの提案がありました。各団体ができる範囲で協力連携が進み、子どもや居場所の支援につながってほしいですね。(担当・浦崎)



那覇市ボランティア・市民活動センター



株式会社 国建さまによるボランティア活動紹介

去る10月30日那覇市身体障害者福祉協会を取り囲む木々がスッキリしたのをご存知ですか?これは国建さまによるボランティア活動のおかげなのです。市内の福祉施設の環境整備ボランティアに長年取り組まれています、社員やご家族総出という、他では類を見ない大掛かりな活動なんですよ。ガジマルの枝などが整えられて、施設を利用している方からは「とても陽当たりが良く明るい雰囲気になりました。気持ちよく利用できます!」と喜びの声が聞かれました。

(担当:上原かおり)

紙おむつプレゼント事業ご報告

那覇市ボランティア・市民活動センターでは今年度特にボランティアBOXの周知に力を入れました。コロナウィルスの流行で接触の多い活動には制限がありました。ボランティアBOXならば①集めて送る②周囲を切って整える、という2種類のボランティア活動に、過密を避けて取り組みます。企業や学校、ご家庭のほかにも、かりゆしうく(小禄老人センター)ではバスを待つ隙間時間に過密を避けて取り組んでいただきました。お陰様で今年度も32名の方に紙おむつ券をプレゼントすることができました!! ご協力して下さった全ての皆様に感謝申し上げます!「出来る事を・出来る時に・出来る範囲で」(担当:上原かおり)

ご協力いただきまして
ありがとうございます!



かりゆしうくでの切手収集活動

沖大ぼらさぽとコラボでボランティア講座を開催しました



福祉教育にSDGsを取り入れたいけれど使い勝手の良い教材が少ない…。そこで那覇ボラセンでは、昨年発足したばかりの沖縄大学生向けボランティアコーディネーター“沖大ぼらさぽ”に協力を依頼し、SDGsゲーム用の20面ダイス(サイコロ)を手作りするボランティア実践講座を共同開催しました。参加した学生からは「案外難しい。でも面白い」といった声が聞かれ、集中して黙々と作業に取り組む姿が印象的でした。沖大ぼらさぽ代表の石井さんは「同じゼミ内でも交流が少ない今、ボランティア活動を通じて仲良くなれると嬉しいです」と話してくれました。今後もコラボ企画を予定しています。(担当:上原かおり)

ふれあい・いきいきサロン
「あかり(灯)」開所

平成 19 年度からスタートしたふれあい・いきいきサロン事業の「あかり(灯)」は那覇市内で記念すべき 70 か所目の開所となります。
地域の憩いの場として那覇市松川にある砂川口腔ケアクリニック内にめでたく開所となりました。サロン代表の砂川元氏へ「あかり(灯)」という名前に込められた想いをお聞きしたところ「人々の心に温かなあかりを灯す場所にしたい」と伺いました。サロン運営スタッフには、歯科医師・介護福祉士など有資格者の方も携わりますので、専門性の高い内容となっております。ゆんたくななどの交流以外に口腔ケア相談、口腔体操なども実施したいと意欲的でした。専門家の方が、地域住民へ提供する優しく温かな取り組みは、健やかな健康づくりだけでなく、心の安らぎや人と人との絆を深める素晴らしい活動になると思います。お近くにお住まいの方は、ぜひ立ち寄り下さいね！
(担当：真和志地区 CSW 山城)



生活支援コーディネーター 移送支援に取り組む



昨年 11 月 24 日に“地域の中で支えあい、高齢者がいきいきと安心して暮らせるまち”を目指し、高齢者の移送支援課題の解決に向けて話し合う『第 1 層協議体』を開催しました。そこでは、昨年 10 月から 12 月の約 2 ヶ月間『社会福祉法人等と連携した移送支援』モデル事業として実施中の『石嶺ハイツ自治会シャレード号』の取組みについて報告を行い、構成員の皆さまやオンラインで参加頂いた全国移動ネットワークサービス副理事長の河崎民子氏より今後に向けてのアドバイス等を頂きました。

「車内が集いの場、介護予防になっている」「買物先の店舗側にもサポートが必要。認知症サポーターなど協力できる店舗の担い手づくり」「法人のみでは地域の困りごとは分からない。地域とつながりが必要」等々、移送支援に関して活発な意見交換ができました。

生活支援コーディネーターとして、地域にある企業や社会福祉法人、そして地域ボランティアの方々とおたがいさまの移送支援として継続を目指します。是非とも、移送支援のボランティア活動や地域貢献に関心のある方は本会までお問合せください。(担当：神田)

小禄地区 CSW(コミュニティーソーシャルワーカー)中心に
個別避難計画について懇談会を開催しました

個別避難計画とは、ひとり暮らしの高齢者や障がいのある人たちなど、災害発生時に支援を必要とする「要配慮者」や「避難行動要支援者」と呼ばれる人に対して、自治会・自主防災組織・民生委員・関係機関・隣近所の人たちなど、地域が連携して助け合う仕組みづくりが目的です。要支援者の特性は個人差も大きく、災害が発生するとそれぞれの要支援者の状態によって困ることもさまざまなことから、支援者の皆さんは、その人の状態に合わせたサポートをする必要があります。そのため個別避難計画は、「困り事」「支援のポイント」「日頃からの関り」など、みんなで何度も協議をしながら計画を立てていきます。

今回、小禄地域で個別避難計画の為に懇談会を開催しました。懇談会では、要支援者に日頃から関りのある関係者等をお呼びして、本人の自宅から近い避難場所はどこなのか？実際に避難できるのか？避難所で気を付ける事、近隣に支援を依頼できる人がいるか？等・・・みんなで協議を行いました。避難する事だけが目的ではなく、要支援者が普段から災害に対して抱えている不安、悩みについてお話を伺うことが出来たり、今後何が課題なのかみんなで協議する事が出来た懇談会になりました。(担当：前川)



特例貸付資金(緊急小口資金と総合支援資金(※初回))の
申し込み期間延長と再貸付終了について

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、休業や雇止め、解雇などにより生活資金でお困りの世帯に対して、**特例貸付(緊急小口資金と総合支援資金(※初回))の申し込み期間が令和 4 年 3 月末まで延長**になり、**総合支援資金の再貸付は令和 3 年 12 月に申し込み終了**となりました。

緊急小口資金
●貸付上限額：20 万円以内
●据置期間：1 年以内
●償還期限：2 年以内
●貸付利子：無利子
●保証人：不要
受付時間 午前 9 時～正午
午後 1 時～4 時

総合支援資金(初回)
●貸付上限額
・単身世帯：月 15 万円以内
・(2人以上)世帯：月 20 万円以内
●貸付期間：原則 3 月以内
●据置期間：1 年以内
●償還期間：10 年以内
●貸付利子：無利子
●保証人：不要

なは社協 相談窓口のご案内

ふれあい福祉相談室 ☎ 857-7780

生活上の心配ごと、悩みごと、どのようなことでも気軽に相談できる一般相談・司法書士相談があります。
(秘密は厳守で相談は無料です)

生活福祉資金貸付事業 低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者の属する世帯に対する資金貸付

司法書士専門相談 毎月 第 2 金曜日 / 午後 2 時～4 時 予約制
弁護士専門相談 奇数月 第 4 金曜日 / 午後 2 時～4 時 予約制

ボランティア活動・行事用保険 ☎ 857-7766

ボランティア活動・行事用保険は、ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや賠償を補償します。

デイサービスあしびなー ☎ 080-1739-1355

利用者の方々が住み慣れた地域から通い、日々、生きがいのもてる暮らしを応援し、ご家族の身体的、精神的な負担を軽減します。

障がい者生活支援センター「ゆいゆい」 ☎ 891-8454

在宅で生活する障がい者が「自分らしく」暮らしていけるように支援をしています。
FAX.857-6052
●ピア(同じ仲間)サポート ●サービス利用計画の作成

地域福祉権利擁護センター ☎ 857-4525

日常生活自立支援事業 FAX.857-6052
認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などで、自分で判断することが難しい方々の福祉サービスの利用手続きや、医療費・公共料金の支払い等の日常的な金銭管理のお手伝い、書類の預かりサービスを契約に基づいて行っています。

居宅介護支援事業 ☎ 891-8236

FAX.859-8388
安心して在宅生活が営めるように、家族、医療、介護保険サービス事業所等と連携を図ると共に、社会資源を活用しながら支援を行ないます。

ホームヘルプステーションわかば ☎ 859-8383

FAX.859-8388
ご自宅に介護専門職が訪問し、身体介護及び生活支援サービスを提供します。
●訪問介護 ●総合事業 ●障がい福祉サービス

医療保険療養費支給申請ができます

ご自宅や介護施設まで出張施術します

琉球治療院 詳しくはwebを検索! 琉球治療院 検索 お気軽にお問い合わせください 【営業時間 9:00~18:00】 ☎ 0120-680-006

沖縄本島全域、および宮古島、伊良部島、石垣島、八重山諸島、久米島、伊江島で訪問治療します。

治療内容 はり、お灸、マッサージ



第一食糧(株)より、お米(7kg)100袋 那覇市役所より、食料品(154点)を寄贈頂きました



10月25日、第一食糧株式会社(代表取締役坂本盛幸)様よりお米(7kg)100袋の寄贈がありました。贈呈式で林信介専務取締役は、「今回のお米は、国の販売促進の一環で栃木産のお米とタイアップして販売しており、SDGSの取り組みとして、コロナ禍での地域の課題解決に向けて何か社会貢献できればとの思いで寄贈させていただきます」と述べられました。これらは、市母子会の他に市内の子ども食堂や支援団体等の運営者へ提供されました。

また、那覇市福祉部(宮城寿満子部長、写真一左)は、那覇市職員に食料品の提供を依頼し、9月~10月の間にお米やレトルト、缶詰、商品券等154点が寄せられました。食料品を受取った本会の宮城哲哉常務理事(写真一右)は「ご協力に感謝します。有効に活用させていただきます」とお礼を述べました。(担当:真栄城)



第一食糧株式会社



那覇市福祉部



ボランティアBox 贈呈式

気軽に始めるボランティア活動として定着している「ボランティアBox」活動です! 令和4年も皆様のご協力をどうぞよろしくお願いします。(担当:上原かおり)



おきでんボランティアサークル

今年も沢山の書き損じハガキや使用済み切手をご寄贈いただきました。継続的なご支援をありがとうございます。



沖縄尚学高等学校 2年7組

クラスでできる事を...と考えてフードドライブ活動と並行してボランティアbox活動に取り組んだそうです!

第41回 保育サービス講習会

募集中



子どもがよろこぶマスコット作り



赤ちゃん人形を使って沐浴の練習

那覇市ファミリーサポートセンター(通称ファミサポ)では、2月15日(火)~18日(金)まで4日間の日程で「第41回保育サービス講習会」を実施します。

現在約3千人の登録会員があり、うち0歳児から12歳までのお子さんがある家庭の親御さんの9割が依頼会員、1割ほどが援助活動を行う協力会員ですが、実際に有償ボランティアとしてサポートを行う協力会員さんは100人前後に留まっています。

保育の基本を学んでいただくこの講習会は、ファミサポの協力会員として登録・活動いただくためには受講が必須となっています。コロナ禍の影響で開催が流れてしまう状況もありましたが、今回の講習会が慢性的な協力会員不足の助けになればと願っています。詳しくは那覇市2月号広報、社協ホームページにて案内します。(担当:ファミサポ:外間)

寄附者ご芳名

令和3年11月1日~
令和3年11月30日までの
寄附金状況(敬称省略)

280,000円

一般寄付

- ・本願寺沖縄別院
- ・(株)池原商事
- ・匿名(3名)



おきぎんスマート

- ・ちばりよな~ふあ
14件/17,900円
- ・な~ふあゆいまーる
23件/26,705円

令和3年4月1日~
令和3年11月30日

寄付金総額

5,513,831円